平成 25 年度後半期東北地区産科婦人科学会・医会連絡会

議事録

日時：平成 26 年 3 月 2 日（日）　10:30～

会場：江陽グランドホテル 4 階「銀河の間」

Ⅰ．東北連合産科婦人科学会役員会

1. 議長選出

通例により常任委員長である八重樫先生が議長を行う。

⇒一同了承。

2. 開会の挨拶（八重樫）

3. 報告事項

(1) 新名誉会員該当者、新功労会員推薦者（資料 1）　齋藤　昌利

新名誉会員該当者として、山形県の倉智博久先生を選考委員会へ報告。

（東北連合産科婦人科学会会則第 11 条）

新功労会員推薦者として、岩手県の鈴木博先生を推薦。

⇒一同了承。

(2) 日産婦学会専門医制度中央委員会報告（資料 2）　永瀬　　智

専門医制度試験の日程報告について資料２－１に基づき説明。

新規申請・再認定申請に関し例年通り。

論文の申請について：5 年間で３編以上筆頭論文が必要であることに注意。

産婦人科専攻医登録状況について資料２－２に基づき説明。

平成 24 年度・25 年度と新規登録数減少傾向。リクルート活動を。

(3) 日産婦学会理事会報告（資料 3）　八重樫　伸生、水沼　英樹、杉山徹

以下、資料に基づき八重樫伸生先生より説明。

＜運営委員会答申：資料 3-1＞

①会員専用ホームページの改変

各自登録手続きが必要。e ラーニングの実施が可能。

②e 医学会カードによる研修履歴の管理システムの導入

③日産婦学会事務局の移転

8 月中、東京都中央区京橋

④理事選任ワーキンググループ答申（案）

現状では各ブロックにより選任基準が異なっており民主的ではないとの意見あり。

選任基準を統一するため理事選任ワーキンググループ答申（案）が出たが、意見まとまらず差し戻しになっている。

＜総務関連：資料 3-1＞

⑤産科医療補償制度の対象拡大について

妊娠 32 週以上かつ 1400g 以上

⑥功労会員に岩手：鈴木博先生が推薦

＜専門委員会報告：資料 3-1＞

⑦EP 合剤による血栓症の頻度の調査および血栓症リスクに対する安全策に関する検討小委員会の設置

⑧卵巣癌の新 FIGO 進行期分類が発表⇒日本語訳について最終調整段階

平成 27 年の登録より新進行期に移行する予定

＜社保関連：資料 3-2＞

⑨診療報酬改訂

経皮的卵巣嚢腫内容排除術に関し診療報酬が新設されたが、小児外科主導のものであり、成人には適用にならないようにする見込み。

＜専門医制度委員会：資料 3-2＞

⑩専門医制度の改訂

専門医制度研修プログラム整備指針が発表された。

指導医制度の導入⇒指導医のための講習会：

4 月 19 日(土)8 時 50 分～10 時 20 分、東京国際フォーラム ホール A にて。

産婦人科総会だけではなく、東北連合・北日本連合などでも指導医講習会を企画する必要あり。

＜学術委員会：資料 3-2＞

⑪総会・学術講演会の会場

仙台で 2 年以内に大きな学会会場が新設予定。新規の開催地として申請中。

⑫第 68 回学術講演会シンポジウム応募演題（案）

資料 3-7 に基づき説明。

１）婦人科がんに対する次世代の薬物療法戦略～新しい医療技術の導入をめざして

２）子宮がんの適切な治療法を考える

３）胎児・胎盤環境の生理・病理学的側面からみた胎児の健康度評価

＜暫定指導医・指導医の資格要件＞

資料 3-3、3-4 に基づき説明。

以下、杉山徹先生より補足事項説明。

卵巣癌・卵管癌・腹膜癌の新 FIGO 進行期分類について：次回理事会で決定。

子宮肉腫・外陰癌の進行期分類作成中。現在は学会で承認した進行期分類なし。

学会場：収容人数の条件が 1800 人以上⇒1200 人以上に緩和された。

現在は８都市。新規開催都市：過去の実績は問わない。

学会賞：学術奨励賞、優秀論文賞ほか２つ

優秀論文賞は比較的若い人を対象としている。現状では審査基準が曖昧であり、選考委員が変わるたびに基準が変わっていたが、明確な基準を決定する予定。

シンポジウムの題名：子宮がん⇒子宮頸癌・子宮体癌に変わるかもしれない。

以下、水沼英樹先生より補足事項説明。

理事選任ワーキンググループについて

各グループでの慣習も大切にしながら、他者からみて公平な民主的な方法を模索中。

平成２７年～総合診療専門医（代表：北里大学内科吉村先生）

産婦人科医が総合診療専門医をとるためには・・・(代表：筑波大学吉川先生)

2 年間以内に内科・小児科・救急関連の講演受講もしくは e ラーニング・e テストをクリアすることが条件となる見込み。

産婦人科専門医にプラスして総合診療専門医を取得できるのか、まだハッキリしていない。

シンポジウムの内容は婦人科関係１つと産科関係１つの２つにしぼられることとなった。

HPV ワクチンの報道について。

藤森敬也先生より情報提供。

第６８回学術講演会シンポジウムの応募課題に関して最新情報。以下 2 つでほぼ決定。

今週中に確定し、発表。

1)子宮がん　腫瘍手術の新しい方向性を探る

2)子宮内環境の生理・病理学的側面からみた胎児の well-being 評価

齋藤良治先生より質問。

総合診療専門医について：

内科・外科専門医は分娩管理の経験義務はないのか？

⇒産婦人科関連は３項目あるが分娩管理は含まれていないのが現状。

分娩管理等必要条件があれば産婦人科学会より申し出る必要あり。

蓮尾豊先生より質問。

血栓症セミナーについて

⇒日産婦最終日の午後に開催の予定。参加対象者は自由となる見込み。

以下、永瀬智先生・八重樫伸生先生より補足事項説明。

暫定指導医・指導医について：現在の指導責任者が暫定指導医となる。

整備指針に基づいて新しい研修プログラムを作成することが必要となる。

来年度中に学会からプログラム作成の依頼が各指導責任者にくる予定。

各大学レベルが責任をもち、関連病院をブロック化する。

⇒市中病院１つ１つがプログラムを作成することにはならない、予定。

(4)第 137 回東北連合産科婦人科学会総会並びに学術講演会の準備報告（資料 4）　武市　和之

平成 26 年 6 月 14 日(土)・15 日(日)、福島ビューホテルにて。

現在演題 28 題集まっているが 40 題以上を目標としている⇒締め切りを 3 月末まで延長。

(5)第 62 回北日本産科婦人科学会総会並びに学術講演会の準備報告（資料 5）　齋藤　昌利

平成 26 年 9 月 27 日(土)・28 日(日)、金沢市アートホール・ホテル金沢にて。

(6)第 139 回東北連合産科婦人科学会総会並びに学術講演会の準備報告　中川　公夫

平成 27 年 6 月 6 日（土）7 日（日)、紅陽グランドホテルにて。

(7)その他

特に議題あがらず。

4. 協議事項

(1)総会運営委員会委員及び予算決算委員候補者の推薦について（資料 6-1，6-2）

通例通り 2 年毎：今年度に引き続き、総会運営委員は谷川原真吾先生(宮城)、決算委員は金杉浩先生(山形)・横山良仁先生(青森)。⇒一同了承。

(2) 来年度以降の東北地区産科婦人科学会・医会連絡会について

前半期：平成 26 年 6 月 15 日(日)8 時～

後半期：平成 27 年 3 月 1 日(日)

(3) 第 141 回東北連合産科婦人科学会総会並びに学術講演会について（参考資料 1, 2）

岩手県：日程・会場未定。詳細は後日。

(4) その他

福島明宗先生より連絡。

平成 27 年 10 月 16 日(金)・17 日(土)：日本母性衛生学会を開催。盛岡駅前にて。

15 日に役員会を開催。

倉智博久先生よりご挨拶。

大阪府立母子保健総合医療センターへ。

（ 12:20～13:00 ）昼　食